

2018年度第2四半期決算説明会

電通グループ中期方針

2018年8月10日

株式会社 電通 代表取締役社長執行役員 山本敏博

*本資料に含まれる数値、指標は、事業の実態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、財務諸表の数値とは異なる場合があることにご留意ください。用語の定義については、Appendicesをご参照ください。

フェーズ 1：2017～18年の取組み

17

18

19

20

ポスト2020



フェーズ 2：2019～20年の中期方針

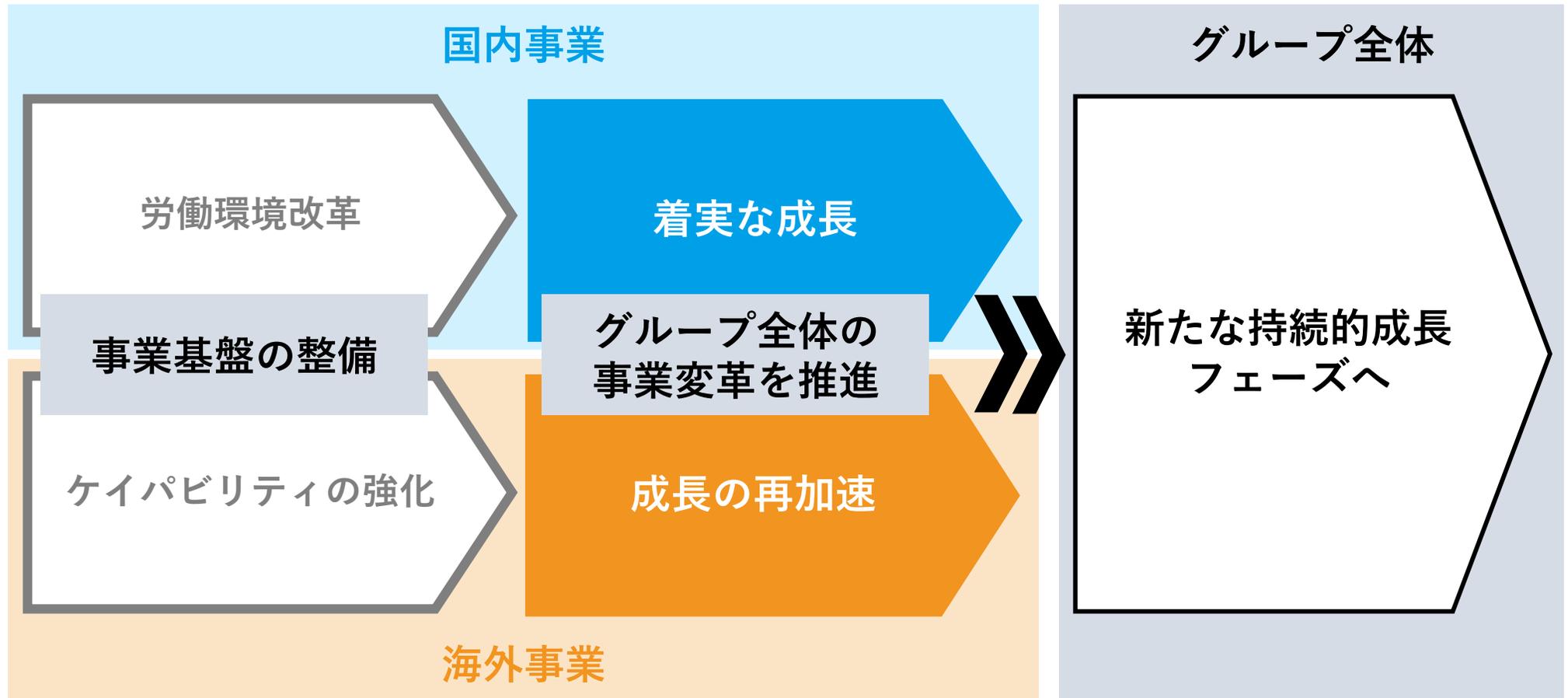
17

18

19

20

ポスト2020



電通グループの自己革新

新しい価値を創造し、社会の良い未来に貢献する



Creativity & Technology



コラボレーション



多彩で豊かな顧客リレーションシップ



海外事業の中期方針

『100%デジタルエコノミー』に対応した
継続的な事業成長

成長を促進するための戦略的優先事項：

- 1 顧客のニーズにこたえる統合ソリューションを強化
- 2 メディア・パートナーシップおよびコンテンツがもつ力を最大限に活用
- 3 データ及びピープルベースド・マーケティングでの差別化を促進

海外事業の中期方針

成長を促進するための戦略的優先事項：

- 4 高い成長ポテンシャルを持つ地域やビジネス領域での収益伸長
- 5 業務全体の効率を最大化
- 6 ケイパビリティ向上のため、引き続き市場変革の機会を探索

国内事業の中期方針

広告事業

(シェア拡大)
(収益性向上)

国内事業の中期方針

事業ドメインの拡張



ドメイン
拡張

Marketing Technology

- データ戦略コンサルティング
- マーケティングクラウド システムインテグレーション
- カスタマーエクスペリエンス デザイン

Business Design

- 経営変革支援/新規事業開発
- 新メディア開発
- コンテンツマネジメント

広告事業

(シェア拡大)
(収益性向上)

コア・コンピタンス

国内事業の中期方針

事業開発・事業投資 への挑戦

- 多種多様な顧客との恒常的な接点を生かし自己資本も投じながら協働で推進する事業
- 顧客と当社のケイパビリティを繋ぎあわせることで新たな価値を創造する
- 事業主体の一部となり、収益分配を得る

ドメイン
の拡張

事業開発
事業投資

への挑戦

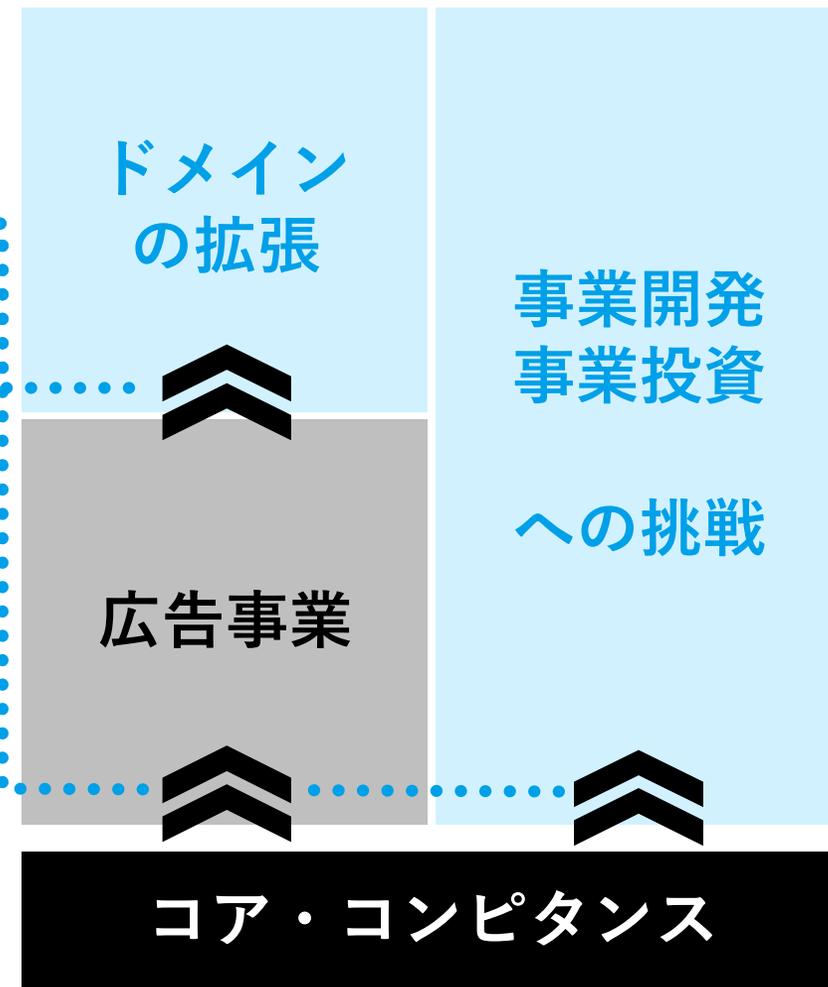
広告事業

コア・コンピタンス

国内事業の中期方針

ケイパビリティの拡充による
事業成長の加速化

- 人材の獲得
- M&Aも含めた投資活発化



フェーズ2 (2019~2020年)

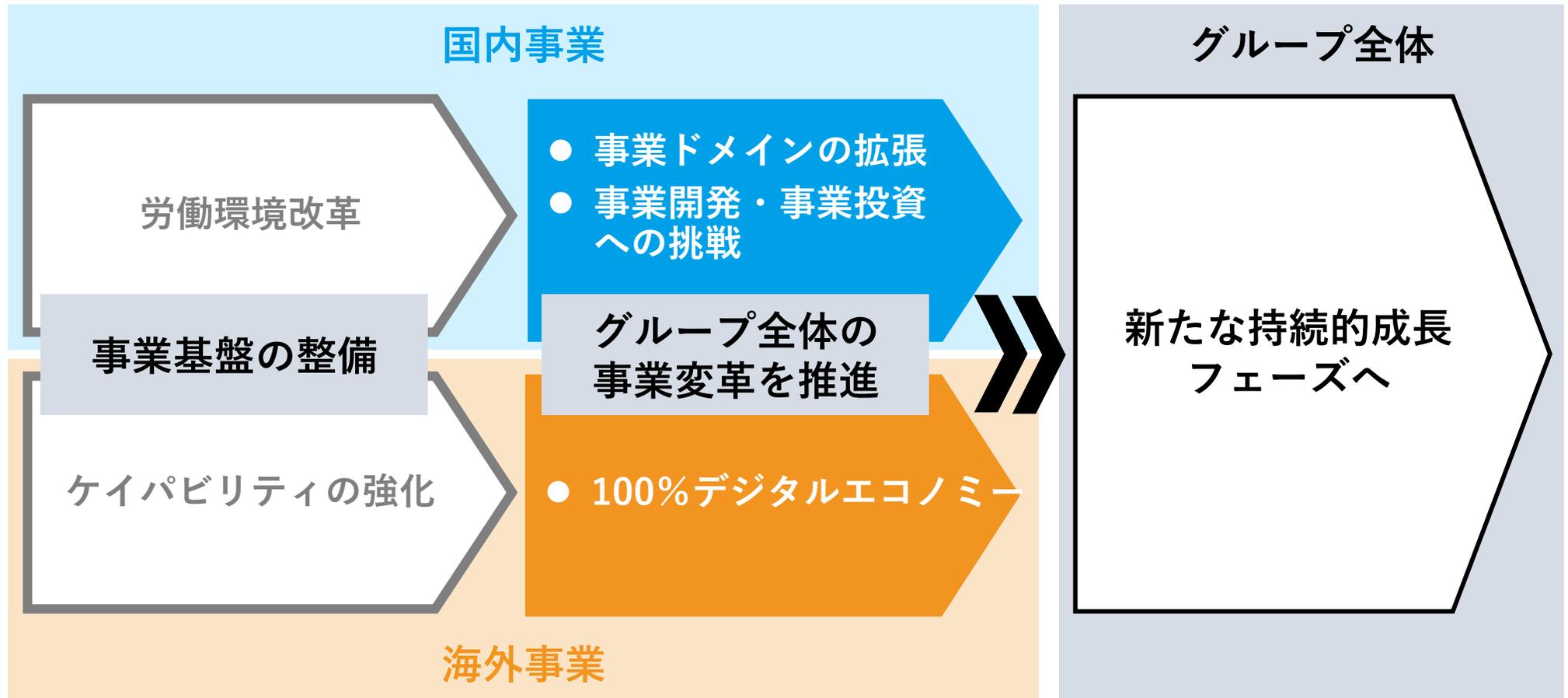
17

18

19

20

ポスト2020



「ポスト2020」に向けて

- 145ヵ国、11,000アカウントを始めとした、メディア、プラットフォーム、ライツホルダー、コンテンツメーカー、各種団体、公共機関といった多種多様でユニークな顧客ネットワーク。
- ほぼすべての顧客が自らの変革を求めている時代。
- 国内と海外とで事業ステージ、コアコンピタンスが異なる。

「ポスト2020」の新たな成長をつくる

インターナショナルな発想から
メタナショナルな発想へ。

純粋持株会社体制への移行検討に着手

2019年3月定時総会への上程と2020年1月移行を目途に
純粋持株会社の検討を開始。

- 当社グループの持続的な成長の維持・強化
- 事業領域の進化・拡大に伴う経営環境の急激な変化への対応
- 中長期的視点での迅速な意思決定を可能にする統治体制の確立

電通グループを新しいフェーズへ

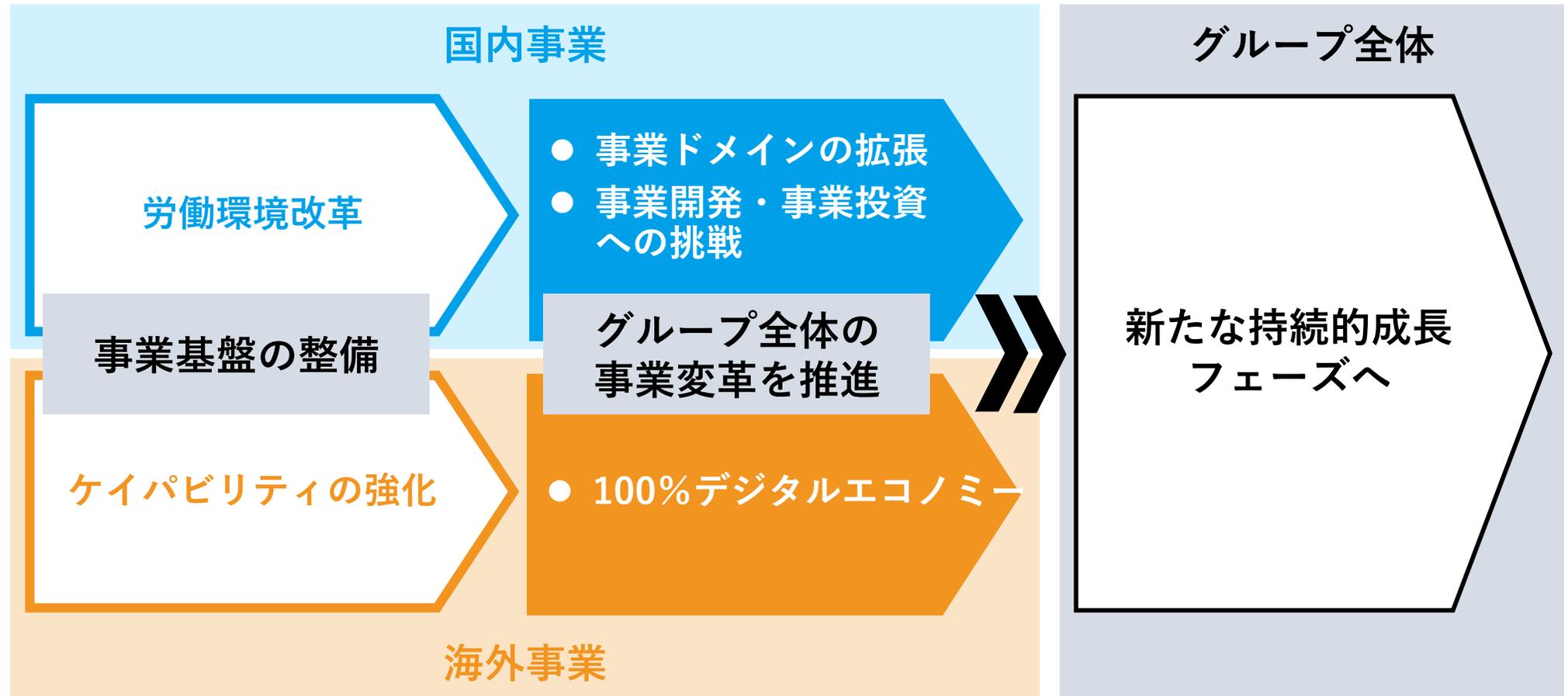
17

18

19

20

ポスト2020



2020年までのガイドライン

売上総利益の
オーガニック成長率

2020年までの3年間のCAGR

3%以上

オペレーティング
マージン

2018年をボトムに
毎年継続的な改善

株主様への利益還元

安定的な配当維持

業績やCF状況に
応じた利益還元

**社会をより豊かにする多様な価値の創造をリードし、
新しい時代を切り拓いていく、電通グループへ。**